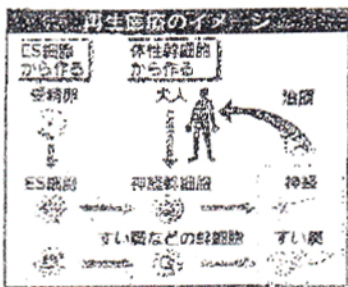


# 再生医療の研究

薬の副作用で症状を抑えるのではなく、体の壊れた部分そのものを修復して復活させる。又、脳科手術が手がける「再生医療実現化プロジェクト」は、対症療法にとどまらず、病の原因を究明して治療する。再生医療の目的は、治療の目的は、病の原因を究明して治療する。再生医療の目的は、治療の目的は、病の原因を究明して治療する。

## 未来プロジェクト



再生医療実現化プロジェクト

正式名称	文部科学省 再生医療の実現化プロジェクト
期 間	2003年～2012年
参加機関	理化学研究所、東京大学、慶応義塾大学、京都大学など
研究費	総額230億円見込み、年別約10億円

## 「ES」体性「両方試す

従来の手法なら、かまふたによって神経は取り出し、途中までしか伸びないが、神経細胞の再生させるには、神経幹細胞を移植する必要がある。また、神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。

「ES」体性「両方試す」の目的は、神経幹細胞と体性幹細胞の両方を用いて、神経細胞を再生させることにある。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。体性幹細胞は、体性幹細胞から作られる。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。体性幹細胞は、体性幹細胞から作られる。

神経細胞を再生させるには、神経幹細胞と体性幹細胞の両方を用いる必要がある。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。体性幹細胞は、体性幹細胞から作られる。神経幹細胞は、神経幹細胞から作られる。体性幹細胞は、体性幹細胞から作られる。